

お疲れさまでした！

上演校⑪ 福井県立金津高校

「心の音を知る人よ」

下迫祐仁 創作

時間を経て、繋がるそして届ける思い

あらすじ

元天才抽象画家・天野壱成の絵のファンである清水翔は、壱成の妻・鈴音と出会い、壱成の過去、なぜ彼が絵を描けなくなったのかを知る。友人・空の助けを借りながら、翔が下した決断とは。そして壱成の隠された「心の音」とは…？



お客様の声

- 最後には自分の絵を理解してもらうことができ、感動した。
- すずねといっせいさんの距離が温かく感じた。
- 場転が多いですが、花道や背景パネルをうまく使って作り上げていたと感じた。
- 感情をもった声と役作りが素晴らしいだった。
- 過去のトラウマを乗り越えていくところに感動した。

速報係が見た。この劇の感想！

これは、あまのいっせいが、物語に出てくる登場人物たちによって画家をもう一度志す物語であった。主人公の心情の変化が面白く、クライマックスで自分の作品に感動したり、いい評価をしてくれる人がいることに気づき、再び絵を描くことを決心できたりした。また、この作品から、自分が何か諦めそうになったときに周りの人からの意見を聞く大切さや、意見を求める大切さ、現実と向き合う大切さなども学ぶことができた。

担当：富山県生徒実行委員会 速報係 旭、矢郷